



大平さんが担当する「コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル」では、昨年「270度アクティブビジョン」を導入。迎賓時に4台のプロジェクターで季節の映像やテーマに合わせた映像を会場内に投影できる

ているのです。
また、備えとして、オペレーターは自分の“隠しアイテム的”な効果音や楽曲も常に用意しています。例えば、よく使うのはオルゴール曲。進行上は「ゲストスピーチ」となっていますが、新婦のご友人はお手紙を書いてきていて、内容も感動的な場合が多いんです。聞きながら、これは無音ではもったいないな、と思った時にかけられるようにしています。あとは、キスコールでおふたりがキスした瞬間に入れる曲も持っておいたり。これも進行表にはないですよ（笑）。実はそんなシーンも盛り上げているんです。

照明では、余興で出演されるゲストが挙式前に宴会場にリハーサルにいられて、自分たちがどの位置でどのように歌うのかなどを打ち合わせします。そんな時にサーチライトを回してみると、「すごい！ライブ会場みたい！」ととても喜んでいただけるんです。するとオペレーターもよりテンションが上がって「じゃあ、こうしてみましようか」などと、新たな光の演出をお見せしたり。そうしてだんだん場の温度感が上がっていく。出演するゲストが楽しんでくださると、見ているゲストも、おふたりもより一層楽しめます。ちょっとしたことかもしれませんが、やはり音と光は人の気持ちを高めてくれるのですし、結婚式全体の満足度にも関わる要素だと思います。

音響も照明も、うまくやって当たり前。おふたりやゲストが心地よく過ごせて、自然に気持ちが盛り上がるのが理想なので、なかなか気付いてはいただけないのですが、その重要性を知っていただけるとうれいします。

披露宴全体の雰囲気や流れを作り出す存在です。迎賓や歓談中の音楽などは、たいていゲストは気付いていませんが、実は演出上とても重要な役割を果たしています。楽曲の雰囲気、音が流れるタイミング、音量すべてがマッチした時に、知らず知らずのうちに人は喜び、笑い、魅了されるのです。時には鳥肌が立つほどの瞬間を作り出せることが、私たちの仕事の魅力だと思っています。音楽の力で、アクシデントのフォローをすることもあります。過去に経験した会場では、ケーキ入刀後に新婦のドレスのパンコールが装飾に絡まって取れなくなり、進行が止まってしまったことがありました。予定では歓談用の曲に切り替える場面ですが、曲が転換すると進行が止まったのが目立ってしまいます。私はMCの言葉に合わせて、少し音をおおって場の空気をつなげつつ、曲の切り替えもスムーズに次の進行につながるようゆったりと行なうなど工夫しました。そうした機転やもしもの時のノウハウは代々、先輩から教えられてき

かると、お話もぐっと深めやすくなりますし、招待状のデザインなども共有していただけたら、全体の雰囲気や卓上の演出のイメージもより広がるのではないかと思います。音楽は基本的におふたりに決めていただくのですが、私たちが選曲までお手伝いするケースもあります。ただ、「音楽のことはよく分からない」とおっしゃっても、好みの雰囲気などはあるはず。そこで「ヴォーカルは男性か女性か？ お好みのジャンルは何か？」などを伺いながら、おふたりの雰囲気とヒアリングした情報を基に、ふさわしいと思える楽曲を選んでご提案。気に入っていただければ当日にそれを使うという流れです。選曲は私たちもプロとしてやりがいがありますし、共働きの結婚準備もお忙しい方が増えているので、お任せいただくのも一つのご提案かもしれませんね。

空間を彩り、ゲストの感情をも動かすピンチの場面でも活躍

音響・照明は、その効果によってお客さまの心を大きく動かすことができるもの。

連載 THE PROFESSIONAL

ドラマは現場で起こっている

結婚式で数々のドラマに立ち会うさまざまな職種の方にご登場いただく当企画。今回は音響・照明の分野で活躍する東芸エンタテインメントの大平美咲氏にご登場いただいた。ゲストや、時に共に結婚式に携わる他のスタッフも気付かないような、あのシーンやこの場面で、実はとても重要な役割を果たしているのが音響・照明演出。支えているスタッフの思いや婚礼における技術論などを伺った。

株東芸エンタテインメント
バンケット事業本部 第1事業部 銀座営業所 所長
大平 美咲氏



披露宴の雰囲気を決める打ち合わせ希望を引き出すことが大切

音楽が大好きで、いずれライブコンサートなどに関わる仕事ができればいいな、と考えて音楽の専門学校に進みました。ウエディングに関しては中学校時代に職業体験として地元のホテルでプランナーに話を聞く機会があり、その時から興味があって。専門学校の2年次に、音楽とウエディングの両方に関われる東芸エンタテインメントの求人を見つけた時には、「ここしかない！」と運命のようなものを感じました（笑）。社内の事業部はバンケット、イベント、テーマパーク、映像の4部門があり、私は入社以来ずっとバンケット畑です。現在は打ち合わせが中心ですが、オペレートに入ることも。その際は、土日が主に披露宴、平日は一般宴会の音響・照明を担当しています。ウエディングの打ち合わせは、だいたい

当日の3~4カ月前。ある程度進行や内容が決まっている方とそうでない方に分れます。決まっている方には、具体的なイメージを伺いながら提案しますが、ほとんど決まっていない場合には、どんな雰囲気にしたいか、というところからヒアリング。ゲストに参加してもらいたい、負担はかけたくないからゆったり過ごしてもらいたい、などのイメージを伺い、ゆったり過ごしていただくなら、照明で華やかさは持たせつつ会話を楽しむことをメインに、ポイントでアクセントになる演出を…などと提案しています。また、再入場に絡めて各テーブルを回るリキッドキャンドルサービスをする、あるいはマジシャンのパフォーマンスを入れるなど、進行全体の構成に関わるリクエストも出てきます。おふたりによってどこに注力するかも違いますので、会話の中からできるだけおふたりの希望をくみ取っていくことが、私たちの最初の重要な仕事です。

音響・照明は新郎も積極的に「お任せ」もウエルカム

音響・照明の打ち合わせは、新郎も積極的に参加いただける傾向があるので、おふたりには打ち合わせしているその時間も楽しいと思ってもらえるようにと、いつも接客をしています。特に音楽好きな新郎新婦だと、決めなくてはならないことが多い結婚準備の中で、好きな音楽の話ができるのが息抜きになる方もいらして、すごく盛り上がることもありますね。プランナーさんに比べてご一緒できる時間は短いですが、音楽や照明の話を通じて、プランナーさんが知らないおふたりのエピソードや、別の角度からニーズを引き出せることも。ですから、打ち合わせ後の共有は大切にしています。打ち合わせ前のプランナーさんからの情報共有は、ささいなことでも教えていただけるとうれいします。おふたり共通の好きなアーティストがいるなどの情報が事前に分

大平さんの考えるブライダル音響・照明とは

- 魅力…… 会場の雰囲気を作り、お客さまの心を大きく動かせること。ゲストの歓声や笑い声、涙している姿を見ると、とてもやりがいを感じます。
- 理想の在り方…… ゲストからすると「そういえば曲が流れているな」「そういえば照明変わったな」程度のもかもしれませんが、実は雰囲気を司る重要なもの。自然な空間であることを目指しつつ、おふたりやゲストの気持ちを高めるお手伝いがしたいです。

●おすすめの演出…… 会場に4台取り付けられたプロジェクターを使用した「270度アクティブビジョン」というライティングコーディネートで、迎賓時の会場を華やかに彩る演出。

For プランナー
お客さまと一番長く接するプランナーさんだからこそ分かるお客さまの情報を、演出に関すること以外も可能な限り共有いただき、音響・照明・演出の打ち合わせでさらに深められると、より理想的なご提案ができるように思います。

大平 美咲 | 音楽系専門学校を卒業後の2012年、新卒で(株)東芸エンタテインメントに入社。バンケット事業部に配属され、今年8年目。現在は「コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル」を担当する部署の所長として、9人のスタッフのマネジメントも行なう。休日のリフレッシュ法はショッピングや、お酒を楽しむこと。